



「ソピア（知恵）の旗」だより

ソピアとはギリシア語で「知恵」という意味であり、本校の校歌の歌詞にある言葉です。



2019・10月 NO. 5

黒潮町総合防災訓練に参加！！



9月1日（日）、黒潮町総合防災訓練に全校生徒で参加し、登校時に地震発生を想定した避難訓練を行いました。



登下校時や外出中に地震が起きたら、まず頭を守る（落下物や電柱、自販機などから離れる）、広い場所があればそこへ向かう、揺れが収まったら高台へ向かう、学校を目指す、などを心がけて行いました。参加者はそれぞれの場所で避難行動をとることができました。

生徒からは、「いつどこで災害に遭うか分からないので、このような訓練を繰り返し行う事が大事。」などの声が聞かれました。



全校でオリジナルHUGを体験



9月1日（日）、黒潮町総合防災訓練の後、全校生徒で本校が作成したオリジナルの避難所運営ゲーム（以下HUG）を行いました。1年生は初めてのHUGで、戸惑っている様子も見られましたが、2・3年生のリードで進むにつれ発言もでて、積極的に参加することができました。



生徒からは、「最初に仲間づくりゲームをしたらやりやすかった。」「3年は慣れてきたので新しいメンバーとやるのが大事。」「実際に動いてみるとか、動きのあるHUGをやるといい。」「1年生にももっと積極的に話してほしい。」などの意見がでていました。



地区防災会で提案

9月1日（日）、黒潮町総合防災訓練の後、7月9日（火）に行った入野本村地区からの「逃げトレ（京都大学の矢守研究室が作成したアプリ）」を使った津波避難訓練の検証結果とあわせて、地震後すぐに避難すれば、大方高校へ向かって十分間に合うことなどを説明しました。

住民の方からは「ほんまに老人でも間に合うのか。」



「壊れた壁らあがあって、そんなにうまく逃げれんがじゃないか。」などの質問があり、避難への不安がまだ多くあることがわかりました。

生徒は、「安心して大方高校に避難してもらえるよう、今後もいろんなことを試して、提案していきたいです。」とっていました。

各クラスでホームデーを満喫



9月20日（金）、各クラス単位のホームデーが行われました。事前に各クラスで希望場所を決め、企画準備を進めてきました。体育館でレクリエーションをしたり、チーム対抗オセロ大会やみんなで食事を作ったりして交流を深めたクラスもありました。



また、バスに乗って、高知市内へ行き、プラネタリウムを楽しんだ後、帯屋町でショッピングをしたり、映画鑑賞と銘打ってイオンにでかけたりしたクラスもありました。

生徒からは、「普段話さないクラスメートともコミュニケーションがたくさんとれて良かった。」「人生初めての映画で頭がガンガンしています。」などの感想が出ていました。



「地域学」でらっきょうの植え付け

9月24日（火）、朝からの曇り空が嘘のように晴れて、残暑の厳しい中、学校のすぐ近くの万行地区でラッキョウの植え付け体験を行いました。植え付けを行ったのは「地域創造コース」の2・3年生です。



防災学習と人権学習の取り組みで万行地区の学習をしました。歴史や産業、過去の地震被害などについて詳しく学ぶ中で「実際に万行地区に行ってみよう。」ということになりました。3年生は黒潮町の特産品であるラッキョウを使った商品開発を行っているので、生産地や生産過程を知るよい機会になりました。

実際に行ってみると、砂の畑は防災面で考えると非常に地盤が弱いことを実感し、広い面積を一粒ずつ中腰になって植えていく作業は高校生でもきついものでした。

生徒たちは生産者の高齢化や後継者不足が問題になっていると聞き、「特産品であるラッキョウ産業をさかんにして、様々な問題を解決するために私たちができることを考えていきたい。」と感想を述べました。5月頃には収穫に行く予定です。

